

なみは、しずかにきしへうちよせて
いた。とおくのそらには、しろいく
もがながれている。かのじよは、ひ
とりでうみをみつめていた。そのむ
ねには、しずかなおもいがあふれて
いた。

きくちかん 「しんじゅふじん」より